



平成 17 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社
代 表 者 の 役 職 名 取 締 役 社 長 飯 島 康 輔
(J A S D A Q ・ コ ー ド 1 9 9 7)
問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長
役 職 ・ 氏 名 藤 沼 一 男
電 話 番 号 0 2 9 (2 4 4) 5 1 1 1

平成 17 年 8 月 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 16 年 10 月 14 日 付 当 社 「 平 成 16 年 8 月 期 決 算 短 信 (連 結) 」 及 び 同 日 付 当 社 「 平 成 16 年 8 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 いた した ま し た 、 平 成 17 年 8 月 期 (平 成 16 年 9 月 1 日 ~ 平 成 17 年 8 月 31 日) の 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 いた した ま す の で お 知 ら せ し ま す 。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	5,300	30	10
今 回 予 想 (B)	5,200	45	65
増 減 額 (B - A)	100	75	75
増 減 率	1.9%	%	%
前中間期(平成 16 年 2 月中間期)実績	5,542	70	47

(2) 通 期 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	12,500	250	200
今 回 予 想 (B)	12,500	130	110
増 減 額 (B - A)		120	90
増 減 率	%	48.0%	45.0%
前期(平成 16 年 8 月 期)実績	12,664	266	193

2. 単独業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	5,300	30	10
今 回 予 想 (B)	5,200	55	75
増 減 額 (B - A)	100	85	85
増 減 率	1.9%	%	%
前中間期(平成 16 年 2 月中間期)実績	5,525	96	60

(2) 通 期 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	1 2 , 5 0 0	2 5 0	2 0 0
今 回 予 想 (B)	1 2 , 5 0 0	1 2 0	1 0 0
増 減 額 (B - A)		1 3 0	1 0 0
増 減 率	%	5 2 . 0 %	5 0 . 0 %
前 期 (平成 16 年 8 月 期) 実 績	1 2 , 6 2 1	2 8 9	2 0 7

3. 修正の理由

(1) 連結業績

主に単独業績予想修正に伴う修正であります。

(2) 単独業績

当中間期の売上高は、受注高の減少に伴い当初予想を若干下回る 52 億円 (予想比 1 億円の減少) となる見込みであります。損益面におきましても、受注高の減少による工事利益額の減少とともに、一部大きな不採算工事が発生しましたことから工事利益率が大幅に低下し、当初予想を大幅に下回る 55 百万円の経常損失 (予想比 85 百万円の減少) となる見込みであります。最終損益も、上記の理由により 75 百万円の中間純損失 (予想比 85 百万円の減少) となる見込みであります。

また、通期の業績見通しにつきましては、売上高は当初予想通り 125 億円を見込んでおりますが、損益面におきましては、下期に向けまして、全社を挙げて人件費を含む固定費の削減に努めてまいり所存ではありますが、中間期での損失を埋め切れず、経常利益は 1 億 20 百万円、当期純利益は 1 億円とそれぞれ当初予想を大幅に下回る見込みであります。

なお、期末の利益配当金につきましては、当初予想通り 1 株当たり 2 円を予定しております。

以上